

令和5年度事業計画

水産資源の維持・増大や生育環境の保全等を通じた豊かな海づくり推進事業（公1）

1 豊かな海づくり推進事業

（1）全国豊かな海づくり大会推進事業

ア. 全国豊かな海づくり大会の推進

皇室行事として行われる「全国豊かな海づくり大会」が円滑に開催されるよう、豊かな海づくり大会推進委員会とともに開催県の要請に応え指導・助言を行う。また、同大会の放流関係行事に対して指導・推進する。

令和5年度は、9月に北海道で開催される第42回全国豊かな海づくり大会に関し、豊かな海づくり大会推進委員会と連携してパンフレット等による大会趣旨の普及・啓発を行うほか、大会放流行事等をサポートする。また、次年度に開催予定の大分県大会の準備にかかる指導・助言を行う。

イ. 「功績団体表彰」の推進

第42回全国豊かな海づくり大会の「功績団体表彰」（栽培漁業部門、資源管理型漁業部門、漁場・環境保全部門の3部門）の公募・審査・表彰にかかる業務を行う。

（2）豊かな海づくり活動推進事業

ア. 地域での豊かな海づくり大会推進事業

豊かな海づくりの推進運動が地域に根付いた活動として各地で実施される地方版豊かな海づくり大会等の開催について、令和5年度は都道府県から推薦のあった14カ所での大会等（別紙1上表）に助成する。

イ. 地域での豊かな海づくり活動推進事業

豊かな海づくりに関して、地域での種苗放流活動や藻場や干潟の保全等の環境・生態系の保全活動の推進を図るため、相談対応や指導・助言を行うとともに、栽培漁業をわかりやすく図解したリーフレット等を活用し、全国の栽培漁業関係機関と連携し、豊かな海づくり活動の普及・啓発を図る。

(3) 豊かな海づくり推進広報事業

豊かな海づくりに関し、広く国民の理解と協力が得られ、都市と漁村の交流が図られるよう広報事業を実施する。

令和5年度は、①「豊かな海づくり」への国民的な理解醸成を図る取り組みの推進、②全国豊かな海づくり大会の報告、各地の栽培漁業の推進に係る情報、海域栽培漁業推進協議会（以下、「海域協議会」という。）の活動紹介や各地の豊かな海づくり推進活動などを掲載した機関誌「豊かな海」の編集・刊行（年3回）、③全国豊かな海づくり大会を推進するためのパンフレットや、海域協議会の活動紹介など豊かな海づくりの推進に資するリーフレットの作成・配布、④ホームページへの機関誌「豊かな海」PDF版、栽培漁業用等種苗等の生産・入手・放流実績調査結果の概要、全国豊かな海づくり大会概要、栽培漁業や環境保全活動情報等の公開、⑤豊かな海づくりに関する写真を掲載した次年版「豊かな海づくりカレンダー」の作成・配付等を行う。

2 広域に連携・共同した種苗生産、放流体制をめざす栽培漁業広域連携推進事業

(1) 種苗放流による資源造成推進事業

水産資源の維持・増大を図るため、広域連携組織である海域協議会の活動を支え、関係県の連携のもとで適地での積極的な種苗放流や、小型魚の混獲防止・再放流などの資源管理の推進等により放流種苗の生残率の向上を図り、計画的に資源を造成する取組を推進する。

令和4年7月に公表された国の「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本方針」（以下、「第8次栽培漁業基本方針」という。）の推進、海域協議会による広域種の「効率的かつ効果的な種苗生産及び種苗放流に関する計画」（以下、「広域プラン」という。）の推進等に積極的に取り組む。

全国6海域の海域協議会の連携のもと、「種苗放流による広域種の資源造成効果・負担の公平化検証事業（水産庁補助事業）」を活用して種苗放流による資源造成推進事業を実施し、トラフグなど回復が急務とされている資源について、「広域プラン」の下で資源管理の一環として種苗放流に取り組み、集中放流や適地放流による資源造成効果の検証に必要なモニタリング体制の検討、構築等に取り組む。太平洋北海域ではマツカワ、ヒラメを、太平洋南海域ではトラフグ、ヒラメを、日本海北部及び中西部海域ではヒラメを、瀬戸内海及び九州海域ではトラフグを、また、瀬戸内海ではガザミを対象魚種として事業を推進し、特に低位水準にある資源の底上げを図る。

また、トラフグ資源の回復へ広域的な資源管理の取組を促進するため、「令和5年度新たな資源管理システム構築促進事業（水産庁補助事業）」に取り組み、トラフグ資源管理検討会議の推進を図る。

（2）共同種苗生産・放流体制構築事業

各都道府県において種苗生産施設の老朽化や技術者の高齢化が進み、地方財政の逼迫等から、都道府県単独で栽培漁業を推進することが益々困難となっている。このため、第8次栽培漁業基本方針に基づき、関係都道府県の連携等を進め、効率的な種苗生産・放流体制の推進に取り組む。

令和4年度に策定された「広域プラン」に基づき、種苗生産にかかる親魚養成の拠点化や受精卵の安定確保等相互協力の推進に取り組む。

都道府県を跨る関係機関が主体となった連携推進を図るため、令和4年11月に水産庁栽培養殖課、水産研究・教育機構（以下「水産機構」という。）及び当協会が策定した「栽培漁業連携推進プラットフォーム設置要領」に基づき、関係機関より希望のあったプラットフォームの設置に係る調整や、設置後の連携推進会議の開催等を行う。

また、当協会を事務局とする「海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議」のもとで、技術及び情報交換、人材の交流等を推進し、6海域の海域協議会とともに、国、水産機構と連携し、効果的・効率的な栽培漁業の推進体制の構築に努める。特に、令和5年度は協会設立20周年を迎えることから、同全国連絡会議について11月を目処に開催し、これまでの協会活動や栽培漁業の取組に関する報告、今後の豊かな海づくり推進に関するパネルディスカッションの実施等に向けて取り組む。

（3）種苗生産情報等の提供事業

種苗生産を実施している全国の栽培漁業センター（種苗生産機関等）等から年間を通じて、定期的に種苗生産情報、親エビの確保・飼育情報を調査し、全国の種苗生産情報等として取りまとめ提供することにより、都道府県における種苗生産の効率化等の推進に寄与する。

令和5年度は、新たに開発した全国種苗生産情報収集システムに基づき、関係都道府県の栽培漁業センター・水産試験場・栽培関係法人の情報を取りまとめ、集約した情報を関係機関に発信する。これにより、都道府県間の種苗融通等の円滑化を図る。

また、水産庁の「水産資源調査・評価推進委託事業」を受け都道府県等が実施した令和4年度の種苗生産・中間育成・放流等に関する実績データの収集及び集計を行うとともに、「我

が国周辺水域の重要魚種の資源評価」の対象魚種であるマダイ、ヒラメ、トラフグの一部系群について、混入率、回収率等の基礎データを収集する。

3 栽培漁業技術開発と普及促進及び生息環境の保全推進事業

(1) 栽培漁業技術定着推進事業

栽培漁業技術の研究・開発の状況に対応して、専門的な立場から都道府県等からの要請に応じて指導・助言や、総合的な都道府県間の調整を行い、円滑な栽培漁業技術の開発・普及と研究成果の現場への定着化の促進を図る。

令和5年度は、東日本甲殻類種苗生産担当者会議等の開催を支援するとともに、ブロックでの種苗生産機関連絡会議等に参画し連携に努めるほか、水産機構の研究所等が主催する海域別・魚種別検討会に参加し技術交流を深める。

また、消費者ニーズが高く、漁業者から種苗生産に対する要望が強いアカムツなど新たな魚種の大量種苗生産・放流技術開発を促進し資源造成を図る「さけ・ます等栽培対象資源対策事業（水産庁委託事業）」を、水産機構を代表機関として富山県等とともに受託して実施する。

(2) 栽培漁業技術研修等事業

栽培漁業技術など豊かな海づくりに関する知見の理解を深め、きめ細かくこれらを普及・定着させるため、現場に近い現地で研修会（別紙1下表）を開催する。

また、第8次栽培漁業基本方針に記載された栽培漁業技術の維持と継承のため、新たに種苗生産機関の若手職員等を対象に、現場での実践的な研修を開始する。

都道府県からの技術情報の問合せに対応し、情報提供・指導に努める。

(3) 豊かな海づくり実践活動推進事業

水産資源の生育環境の保全・改善、栽培漁業を始めとする水産動植物の増殖及び養殖の推進、適切な保存管理、都市と漁村の交流等の豊かな海づくりに関する実践的な活動を支援する。

令和5年度は、水産資源の増大や生息環境の保全につながる活動など、豊かな海づくりの実践的な取組の拡大と増進を図るため、都道府県から推薦のあった20件の実践活動（別紙2）について助成を行う。

実践活動に係る取組の結果について報告書を作成し、ホームページへの掲載を通じて情報提供し、事業の一層の推進に資する。

そのほか、さけ・ます増殖の推進にかかる協力を行う。

(4) 生息環境調査・漁場整備推進事業

水産生物の産卵・育成の場となる藻場・干潟の減少等により、稚魚の育つ生育環境の悪化が進行しており、水産生物の生活史に対応した、良好な生息環境の整備が必要となっているなか、広域的な水産環境整備が展開されている。このため、漁場環境を改善し生産力の向上につながる漁場機能強化技術と、漁業者等による藻場・干潟等の保全活動との連携に努める。

令和5年度は、水産多面的機能発揮対策に取り組む活動組織をサポートし効果的な活動を促進するため、JF全漁連等と連携して国の委託事業により水産多面的機能発揮対策支援に係る講習会及び報告会を開催する。

(5) 豊かな海づくりを担う人材バンク事業

栽培漁業を中心とした豊かな海づくりに関する専門的技術について知識・経験を有する人材を確保し、各種委員会・検討会・研修会、調査等の各種事業の効率的かつ円滑な運営に寄与するため、引き続き人材バンク事業を通じて分野別に登録者を確保し、その活用を通じて「豊かな海づくり」にかかる課題解決に資する。

本会の目的及び事業に適合する国等が公募する補助事業・委託事業等については、積極的に提案・応募し「豊かな海づくり」の推進を図る。

また、新型コロナウイルス感染拡大を経た最近年の事業執行や収支の状況、都道府県財政状況の悪化等により会費確保に厳しさが増していることを踏まえ、理事会の下に、今後の協会事業運営のあり方について、集中的に検討する場を設け、検討を進める。なお、本会事務所については、ビル建替えのため明渡しを求められており、このような状況も踏まえて検討を行うこととする。

(別紙1)

令和5年度 地域での豊かな海づくり大会推進事業一覧（助成事業）

	都道府県名	大会名	開催場所	開催日 (予定含む)
1	北海道	第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会	厚岸町	9月16、17日
2	秋田県	第12回稚魚放流事業	男鹿市	9月1日
3	山形県	お魚放流体験 in 庄内浜	酒田市	7～8月
4	福島県	福島県豊かな海づくり大会	相馬市・ いわき市	5～12月
5	新潟県	浜で遊ぼう in 南浜 南浜朝一特別企画「魚と漁師と遊ぼう」	新潟市	7月23日
6	京都府	ふるさと海づくり大会	舞鶴市	4～2月
7	大阪府	第21回魚庭（なにわ）の海づくり大会	岸和田市	11月5日
8	兵庫県	2023 虹の仲間で海づくり	明石市	5月21日
9	広島県	海の日記念行事	福山市	7月中旬
10	山口県	山口県豊魚祭	防府市	10月予定
11	徳島県	徳島県豊かな海づくりクリーンアップ作戦	小松島市	5月下旬
12	大分県	第43回全国豊かな海づくり大会1年前プレイベント (仮称)	別府市	秋季
13	鹿児島県	第35回豊かな海づくり放流祭	垂水市	7月(予定)
14	沖縄県	第29回南部豊かな海づくり大会	糸満市	10月14、15日

令和5年度 豊かな海づくりに関する現地研修会

	都道府県名	課題名	講師
1	北海道	漁場環境の保全に係る諸課題に向けた対策	学識経験者・研究者、漁業生産者2名を予定
2	宮城県	ホシガレイ栽培漁業の今後(仮)	未定
3	山形県	アワビ放流効果を高めるための放流適地と方法について	東京海洋大学 客員研究員 山川 紘
4	福島県	イセエビの資源管理とブランド化	三重県および千葉県の担当者2名予定
5	石川県	七尾湾産マガキの評価向上に向けて	学識経験者・研究者2名を予定
6	京都府	アカムツの資源管理について	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所 水産資源研究センター底魚資源部底魚第3グループ 主任研究員 八木 佑太
7	長崎県	SDGs 推進・複合養殖と藻場の再生の道	鹿児島大学 名誉教授 門脇秀策
8	鹿児島県	二枚貝(ホタテガイを中心とした)資源管理について	北海道内の大学、道、漁協等の専門家
9	鹿児島県	漁業者の取組と今後の展開～漁業者の意識改革を目指して～	JF 全国漁青連 会長理事 川畑友和

(別紙 2)

令和5年度 豊かな海づくり実践活動推進事業一覧(助成事業)

	都道府県名	活動名	活動組織	継続年数
1	秋田県	漁港内区域を活用したクルマエビ養殖手法の検討	秋田県漁業協同組合中央支所中央北地区五里合地区五里合増殖協議会五里合クルマエビ生産研究会	2年目
2	千葉県	銚子沖キンメダイの好適水温帯の把握	外川支所漁業者協議会	3年目
3	神奈川県	チョウセンハマグリ資源復活に関する活動	三和漁業協同組合 上宮田支所	3年目
4	新潟県	環境変化に応じた佐渡地域におけるワカメ養殖技術の改善	佐渡市ワカメ養殖研究会	1年目
5	富山県	(事業化に向けた) ガゴメ昆布及びクロモ養殖技術の確立	入善漁業協同組合	2年目
6	石川県	ナマコ種苗放流事業	七尾湾漁業振興協議会	2年目
7	福井県	アカアマダイ種苗の放流技術の向上について	ふくい水産振興センター	1年目
8	静岡県	ワカメ養殖における自家生産種苗の有効性の検討	由比港漁業協同組合 若潮研究会	1年目
9	京都府	延縄漁業でのマフグ資源の適正利用に向けた取組	与謝釣・延縄組合	1年目
10	兵庫県	小型魚礁設置による基礎生産性の向上	森漁業協同組合 4Hクラブ	2年目
11	和歌山県	マガキガイ種苗生産	新庄漁業協同組合 新庄ツメバイ会	2年目
12	鳥取県	ナマコ増殖実証試験	鳥取県漁業協同組合境港支所潜水グループ	1年目
13	島根県	マナマコの資源増殖を目的とした種苗放流	浜田地区沿岸漁業部会	3年目
14	広島県	餌料藻場礁を活用したマナマコ放流試験	広島湾底びき網等資源管理協議会	1年目
15	山口県	アカウニの養殖試験	大浦赤ウニ試験養殖実行団体	1年目
16	香川県	イカ産卵器具設置事業	高松地区底曳網協議会	3年目
17	大分県	ナマコ幼生育成技術開発	大分県漁業協同組合 日出支店	1年目
18	熊本県	磯焼け漁場から駆除したウニの陸上養殖に適した餌料の検討	天草漁業協同組合 牛深総合支所	2年目
19	北海道	ウニの種苗生産及び放流	北海道厚岸翔洋高等学校水産クラブ	1年目
20	富山県	アカモクの増殖試験	富山県立滑川高等学校海洋クラブ	1年目